

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年2月6日 (2014.2.6)

【公表番号】特表2013-513719(P2013-513719A)

【公表日】平成25年4月22日 (2013.4.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-019

【出願番号】特願2012-544678(P2012-544678)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 5/16 (2006.01)

C 0 8 K 5/01 (2006.01)

A 0 1 N 27/00 (2006.01)

A 0 1 N 25/34 (2006.01)

A 0 1 N 25/00 (2006.01)

A 0 1 P 21/00 (2006.01)

B 6 5 D 85/50 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 5/16

C 0 8 K 5/01

A 0 1 N 27/00

A 0 1 N 25/34 A

A 0 1 N 25/34 B

A 0 1 N 25/34 Z

A 0 1 N 25/00 1 0 2

A 0 1 P 21/00

B 6 5 D 85/50 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月10日 (2013.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

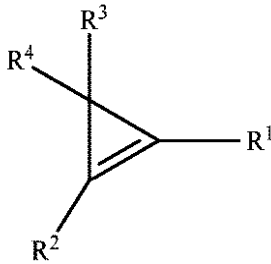
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性組成物であって、該組成物が、熱可塑性ポリマーおよびシクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーを含み、該シクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーが、シクロデキストリン包接複合体を含み、該シクロデキストリン包接複合体が、シクロデキストリン部分および構造：

【化 1】



(式中、 R^1 、 R^2 、 R^3 および R^4 が、それぞれ独立して、水素または C_{1-16} ヒドロカルビル基であり、 R^1 または R^2 の少なくとも 1 つはメチルである)
を有する抑制剤化合物を含む、組成物。

【請求項 2】

前記組成物が、0.0001～3 重量%の前記抑制剤化合物を含み、該抑制剤化合物が 1-メチルシクロプロペンを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記シクロデキストリン変性ポリマーが、シクロデキストリン化合物から誘導されたランダム置換共有結合基を含む置換基を有するポリマー骨格を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物が、0.1～20 重量%の前記シクロデキストリン部分を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、約 1～65 重量%の前記シクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

前記熱可塑性ポリマーがポリオレフィン樹脂であり、前記シクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーが、シクロデキストリン変性ポリオレフィン樹脂であり、前記組成物が 1～85 重量%の該ポリオレフィン樹脂および 0.1～65 重量%の該シクロデキストリン変性ポリオレフィン樹脂を含み、該ポリオレフィン樹脂が、0.5～1500 g/10 分のメルトインデックスを有し、該シクロデキストリン変性ポリオレフィン樹脂が、0.7～800 g/10 分のメルトインデックスを有するポリマーから誘導される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の組成物を含む物品であって、該物品は、繊維、フィルム、織布、不織布、フレキシブル包装、剛性容器、積層体、クロージャー、または包装インサートである、物品。

【請求項 8】

シクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーを形成する方法であって、該シクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーが、シクロデキストリン包接複合体を含み、該シクロデキストリン包接複合体が、シクロデキストリン部分および抑制剤化合物を含み、該方法が、

(i) シクロデキストリン部分をポリオレフィン上にグラフト化させて、グラフト化されたシクロデキストリン組成物を形成するステップと、

(ii) 該グラフト化されたシクロデキストリン組成物を抑制剤化合物と接触させて、該シクロデキストリン変性熱可塑性ポリマーを形成するステップとを含み、該接触させるステップが、包囲空間中で実施される、方法。

【請求項 9】

前記シクロデキストリンが、0～100 の温度および1～25気圧の圧力で、シクロデキストリン1モル当たり0.5～10モルの抑制剤のモル比で、前記抑制剤化合物と接触される、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記抑制剤化合物が、1-メチルシクロプロペンである、請求項8に記載の方法。